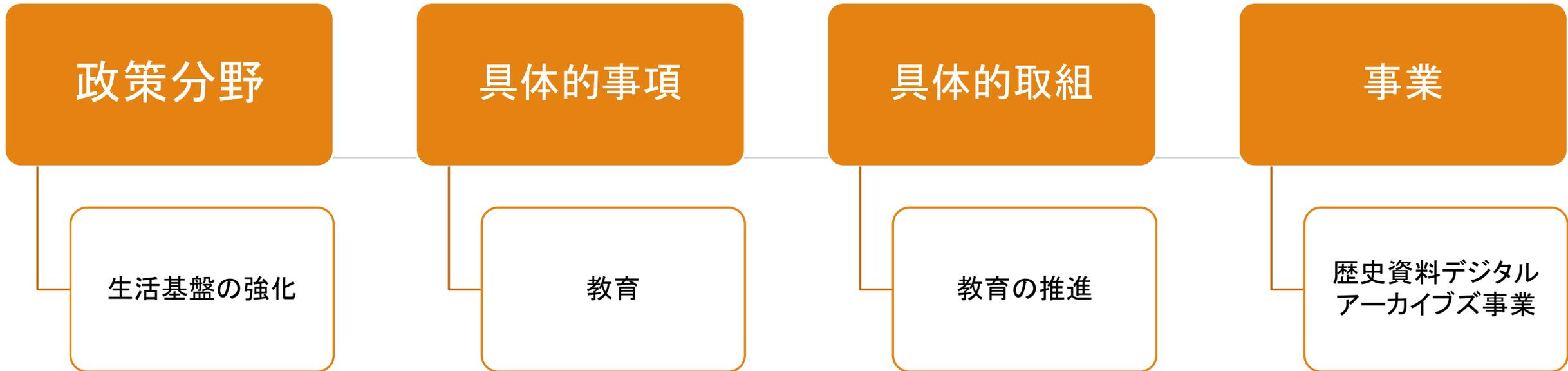


新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン  
第2期

《歴史資料デジタルアーカイブズ事業》



# デジタルアーカイブとその期待される効果

---

デジタルアーカイブとは、図書・出版物、公文書、美術品、博物品、歴史資料等、あらゆる知的資源を対象とし、デジタル化し公開することによって、ネットワーク等を通じた利用も容易となる仕組み

資料を精緻にデジタル化することにより、オリジナル資料へのアクセスの必要性を減らすことが出来るため、将来的にもオリジナル資料の物理的な損傷を最小限にすることが可能になる他に、無制限にコピーが作り出せるようになり、デジタル通信で遠隔地に転送したり、新たなコンテンツの素材として再利用することも可能になる。

どこからでも貴重資料へアクセスできるように、また、同時に多くの利用者に資料を提供でき、各小中学校や自治体による生涯学習への活用が行える。様々な角度からの資料検索データベース化により、様々な角度から資料の検索が行える。それにより、資料を新たな切り口から見る事が可能となる。

定住自立圏

# 歴史資料デジタルアーカイブズ事業

## 事業概要

- 3市町が所蔵する古文書等のデータを新発田市立歴史図書館ホームページ上のデジタルアーカイブコーナーで公開するもの

## 期待される効果

- 圏域内の資料を一括公開することで、利用者の検索に係る利便性が高まり、地域資料全体の保存と活用に寄与する

# 定住自立圏 歴史資料デジタルアーカイブズ事業

## 【成果指標（KPI）】

古文書データの目録公開数（点）

## 【目標値】

古文書データの目録公開数（点）		現状値（R4）	R6	R7	R8
目標値	新発田市	11,233	11,733	12,233	12,733
	胎内市	—	3,460	3,560	3,660
	聖籠町	—	8,312	8,412	8,512
	計	11,233	23,505	24,205	24,905